



## ニュース5号

Information, Communications, and Attention-Related Empowerment Center for the Challenged  
in Hokkaido 障害者のための情報と通信と人々の理解に関するエンパワーメントセンター北海道

秋山記念生命科学振興財団助成事業

### 意思伝達支援ボランティア育成研修 in 恵庭 報告

7月20日、恵庭市民会館で23名の参加がありました。アンケートからは、「装置を実際に見れて良かったです」「器具を実際に見ながらの説明で、とてもわかりやすかった」「今まで知らなかった制度や機器の使用方法など知ることができた」など感想をいただきました。

地元恵庭在住の支援ボランティアKさんが、ご主人の在宅闘病生活を支えた経験を語りました。ユーザーの立場から、意思伝達の必要性、ボランティアの重要性を語った内容は、参加者の胸にまっすぐ響いたのではないかと思います。



独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

### 意思伝達支援ボランティア育成研修 in 苫小牧 報告

7月20日に心身障害者センターで開催、13名の参加がありました。

これまでも度々、障害者のためのパソコン研修会等の事業を行ってきた「苫小牧障がい者パソコンボランティア友の会」とWAMの助成事業を進めていくことになりました。

とりわけ機器の説明のところでは、質問も多く、熱心に機器に触れていただきました。苫小牧地方には、今すぐにでも訪問を待っている患者さんがおられるので、これを機会に実際にボランティアとして活躍していただける方を発掘したいと考えています。



## ちょっと大きな勉強会 ～ICT救助隊をお招きして～

昨年から年に数回「小さな勉強会」を重ねてきましたが、今回は「小さな・・・」と呼ぶには控えめすぎると考え「ちょっと大きな勉強会」と呼ぶことにしました。全国で研修会を開催している東京のNPO団体ICT救助隊をお招きして意思伝達支援を2日間かけて総合的に学びます。

チラシ（詳細なプログラムと申し込み用紙つき）をご希望の方は、E-mailまたはFAXでご連絡ください。

日時：8月18日（土）19日（日） 10時～

会場：北海道難病センター3F大会議室（中央区南4西10）

定員：30名

参加費：2,000円（スイッチ制作実習を希望される方は材料費として+1,000円）

申し込み締め切り：8月13日（月）

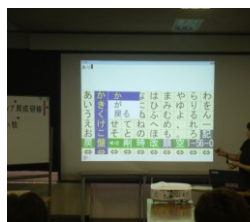
昼食のご注文（650円）も承っています。

NPO法人イーパーツからプロジェクターを寄贈いただきました。

多くの応募があったなか、iCare ほっかいどうを選んで下さいましたことを深く感謝致します。

さっそく苫小牧研修会で鮮明な映像を披露しました。

今後も「ちょっと大きな勉強会」はじめ、さまざまな場所で使わせていただきます。



## 今後の予定

☆9月9日（日）ボランティア養成研修会 in 室蘭

☆意思伝達支援研修会 in 函館 10月6日（金）13時～函館市保健所（WAM助成事業）

7月27日に函館市障害福祉課、函館市保健所、渡島保健所、北海道難病連函館支部を訪問して函館での意思伝の普及に関して協力をお願いしました。

★iCare ほっかいどうはfacebookを始めました。<http://www.facebook.com/iCarehokkaido>  
たくさんの「いいね！」をお待ちしています。

特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目 SITY ビル 6F

T)011-222-4462 F)011-596-8794 [jimu@icare-h.org](mailto:jimu@icare-h.org) <http://icare-h.org/>